

病児保育だより



おひさま No.2
2025



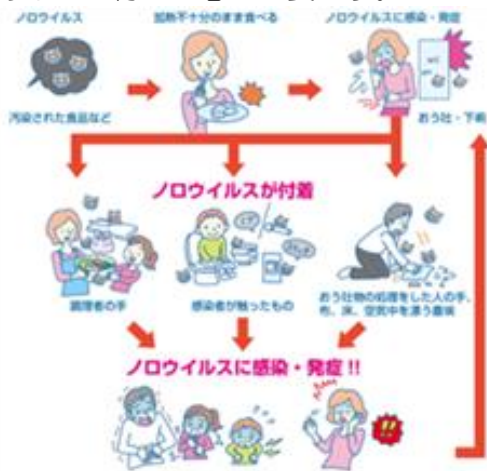
日に日に寒さが増してきました。外気温の低下とともに体温・代謝が低下することで免疫力も低下しやすく、空気が乾燥していることで、くしゃみ等により排出されたウイルスが空気中で漂う時間がのびるため、これからの季節はさらに感染症に注意が必要です。

9月10月11月の利用疾患

- ・RSウイルス
- ・インフルエンザ
- ・マイコプラズマ肺炎
- ・上気道炎

冬場に多い嘔吐・下痢

感染性胃腸炎（おなかの風邪）の原因のひとつであるノロウイルスは11月から翌年1月にかけて流行することがおおく、感染力が非常に強いいため家庭内や集団生活では注意が必要です。ごくわずかなウイルスでも、体内に入ること増殖し、嘔吐・下痢・腹痛をひきおこし、発熱を伴うこともあります。乳幼児は脱水症状をひきおこしたり、重症化することもあるので特に注意が必要です。



多くの場合は自宅での安静・こまめな水分補給、体調に合わせた食事にて改善していきますが、早めの受診が必要なこともあります。

こんなときは受診を！

- ◇ 脱水症状(尿量がすくない、顔色が悪い)
- ◇ 症状が長引くとき(3日以上続く場合)
- ◇ 高熱が続くとき(38度以上の発熱が48時間以上続く)
- ◇ 血便が出たとき(鮮血、または黒い便)
- ◇ 激しい腹痛(動けないほどの痛み)
- ◇ ぼんやりしている、反応が鈍い

出典：政府広報オンライン「ノロウイルスに要注意！感染経路と予防法は？」

子どもの体調がすぐれない。。

でも仕事も休めない。。。。

そんなときは、おひさまにご相談ください。

一度の登録で山縣市在住であれば小学校6年生まで利用することができます。岐阜市・美濃市・関市・各務原市在住の方もご利用可能です。詳細は右記までお問い合わせください

病児保育 おひさま

場所：山縣市高木 933 番地
(ふれあいプラザ敷地)

病児直通：080-2661-7356

ふれあい：0581-23-2030

山縣市社会福祉協議会 HP

